

科目名	政治学Ⅱ	担当者	横田 将志	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

## 【授業概要】

授業目的	政治学が社会科学の一分野であることを踏まえて、実際の政治現象を客観的に分析し、論理的に説明できるようになることを目的とする。この実現に必要な政治学上の知識を身につけ、現実世界の複雑な政治現象を読み解き、さまざまな政治的課題への解答を見つけだせるようにする。		
到達目標	政治学の基本的な概念や考え方、専門用語を用いて、実際の政治現象を理解・考察していくと同時に、これに必要な視座を習得することを目標とする。		
履修条件	初学者を主な対象とする。政治学Ⅰから続けて履修することが望ましい。		
授業方法	基本的に、講義形式で行う。理解の促進を図るために、資料を活用したり、ディスカッションを行ったりする場合もある。		
準備学習	教科書の該当箇所を事前に読んでおくことが望ましい。日頃から、政治や国際情勢に関する新聞記事に目を通すことも勧める。		
成績評価	種別	割合	評価基準
	定期試験	60%	論述式の試験を実施する。①設問の趣旨の理解度、②設問に関する知識の習得度、③論理の一貫性、の3点を基準として評価する。
	平常評価	40%	出席状況と授業内レポートを評価の対象とする。
教科書	山田光矢(編)『政治学』弘文堂、2011年。		
参考書	授業のなかで適宜、紹介する。		
オフィスアワー	金曜日の12:10～13:00を基本とするが、学生の都合にできるだけ応じたい。研究室(1301A)への訪問を希望する場合、授業の際に、あるいはメール(yokota.masashi@nihon-u.ac.jp)で、アポイントメントをとること。		

## 【授業区分】

区分	授業内容
1	ガイダンス
2	日本の政治(1): 日本政治史
3	日本の政治(2): 現代日本政治の特徴と問題
4	日本の政治(3): 日本の外交と地方自治
5	諸外国の政治(1): アメリカ
6	諸外国の政治(2): イギリス
7	諸外国の政治(3): ヨーロッパ(フランス・ドイツ・ロシア)
8	諸外国の政治(4): アジア(中国・台湾・韓国・タイ)
9	国際政治(1): 国際政治の特徴
10	国際政治(2): 国際政治の理論
11	国際政治(3): 国際機関と地球的諸問題
12	新しい政治現象(1): グローバル化と地域化
13	新しい政治現象(2): 非国家アクターと破綻国家
14	新しい政治現象(3): ITとインターネット
15	まとめ